

久留米大学を受診した患者さんへ

「Rou-en Y 再建術後の胆膵疾患に対する内視鏡治療の成績を検討する多施設共同後方視研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成 15 年 4 月から平成 28 年 3 月
- 2) 受診科：消化器病センター(消化器内科、消化器外科含む)
- 3) 対象疾患名：Rou-en Y 再建腸管有する胆膵疾患
- 4) 使用する情報：診療情報等

あなたの情報を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申しあげます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：内科学講座消化器内科部門
 研究代表者：助教 倉岡 圭
 研究分担者：准教授 岡部 義信
 助教 石田 祐介
- 2) 研究の意義と目的：胃切除後 Rou-en Y 再建術後の胆膵疾患(胆石、黄疸など)は、近年バルーン内視鏡の登場により、開腹下、経皮的などの侵襲的処置を回避し、内視鏡検査が可能となっています。Rou-en Y 再建術後の胆膵内視鏡について九州の多施設で多数例の解析を行うことにより、その治療成績や偶発症を把握することを目的としております。
- 3) 研究の方法：当院における Roux-en-Y 再建後の胆膵疾患に対するダブルバルーン内視鏡治療を受けられた患者さんのカルテより、手技の成功率、手技時間、治療経過、偶発症のデータを拾い上げて解析します。
- 4) 研究期間：平成 28 年 8 月倫理委員会承認後～平成 33 年 3 月 31 日
- 5) 上記の情報の使用を選定した理由：多施設で共同してデータを整理しているため、データ整理に必要な期間として、研究責任施設が決めた期間内に上記の病状に対して検査を行った患者さんが選定されております。

- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：本研究は、ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則を遵守し、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施する。なお本研究を実施するにあたり、久留米大学倫理委員会にて承認を得ております。
- 7) 研究成果の発表の方法：学術集会での発表及び論文により学術誌への発表を行う予定としております。
- 8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はないため、利益相反は発生しません。
- 9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

参加研究機関リスト

鹿児島大学病院（研究代表施設）
鹿児島市立病院
済生会川内病院
霧島市医師会立医療センター
熊本大学病院
済生会熊本病院
福岡大学筑紫病院
久留米大学病院
九州医療センター
山口大学病院
佐世保市総合医療センター
嬉野医療センター
琉球大学病院
浦添総合病院
沖縄県立中部病院

（当院）研究代表者 倉岡 圭

久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

電話：0942-35-3311（内線 3714）

FAX：0942-34-2623

E-mail: kuraoka_kei@kurume-u.ac.jp